



細江小

5月28日、CS準備会を行うと聞き、参加しました。私は訪問してびっくりしたことばかりでした。驚いたことを順番にあげます。

- ①準備会ですが、すでにCSルームがあり、そこで江川CSディレクターが中心となって協議が行われていた。(学校運営協議会が開かれているみたい)
- ②準備会なので、まだ協議会のメンバーを決めるかと思いきや、準備会は、準備会の会長、委員が決まっていた。(委員も、会長も決まっている。)
- ③準備会の資料を見ると「第2回準備会」と書かれており、すでに、本日が第2回目の会であった。
- ④次第を見ると、まず、4,5月の活動報告、続いて6月の計画が提案されていた。(すでに活動が行われている。)そして、地域へCSをどのように発信するか。学校支援の輪を広げる工夫など精力的な協議が行われた。

⑤いただいた資料を見ると、すでに江川CSディレクターからCS通信第1号が発行されていた。



坂部小

CS準備会が6月10日に行われました。左座CSディレクターは、実は昨年度まで坂部小の支援員として活躍され、校内のことを熟知している方。この日も左座CSディレクターが中心となり準備会が進んでいきました。会の中で、『坂小サポーター募集』のチラシを協議会のメンバーに見せたところ「サポーターのイメージが、奉仕団という印象がする。地域みんなで子どもを育てるようなイメージのものにしたい」という意見から始まり、「この学校運営協議会を発として、子ども主体であるが、大人も積極的に関わることができるようにしていきたい。」と話題がどんどん展開されていきました。6月18日には、坂部区の町内会長の集まりに左座CSディレクターが出席し、コミュニティ・スクールについて説明し、より多くの応援団(仲間)を得ること。坂部小CS立ち上げに向け、大きく前進したなどを感じました。

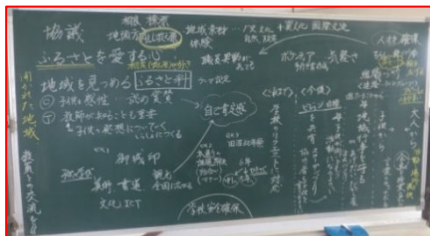
た。



相良小

6月11日、第1回学校運営協議会設置準備委員会が開催されました。この準備委員会開催前に、ふるさと科(総合学習)を進める相良小学校ですので、今野CSディレクターは、精力的に地域の方々と学校(学級)をつなげてくれました。さらには、教頭先生と一緒に、地域の方々が立ち寄れるCSルームづくり(いや、その前に片づけかな)に取り組んでいます。(今野さん、もしかしたら、「ぼくまち」までやるのかな?丈夫そうな体格ですが、身体が心配になります。)

さて、肝心の準備設置委員会、メンバーは、地域で活躍してくれている方々ばかり。校長先生の経営方針の承認後、地域を学ぶ(地域に学ぶ)ふるさと科を大切にしよう、相小応援団を募ろう等、熱のこもった話し合いになりました。校長先生から、運営協議会(準備委員会)の皆さんと職員との協議の場を持ちたいと願うほどでした。

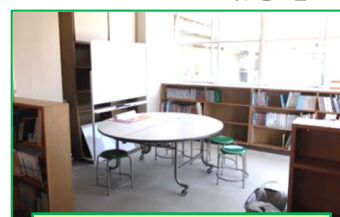


委員さんたちの思い(意見)でいっぱい黑板



菅山小

6月21日、中村校長先生のあいさつにあった「記念すべきCS準備会」が行われました。村松CSディレクターが中心となり、今後どのような形で学校運営協議会を展開していくか話し合われました。まずは、「組織として機能するためにも、そして、この先もずっと続けていくためにも組織を確立していけば、メンバーが変わっても取り組めるのでは」という貴重な意見があり、会長、副会長がとんとん拍子に決まっていきました。「今年が発信する年として位置づけたい」という思いが共有され『おたより』の発行についても確認されました。協議会后、図書館の一角につくられたCSルームを委員全員で見学をしました。この場所が、地域の大人が、子どもたちのことを話していたり、自分たちの学びをしていたりする場所となることを願っています。帰りには全員でLINEの交換。確かに、菅山小のコミュニティ・スクールが動き始めました。今まで以上に、地域の方々に学校が、そして、子どもたちが見えるようになることを期待しています。



図書室の一角を活用したCSルーム